

# どうする？日本のインフラマネジメント ～点検データの山から見出す意思決定の道筋～

## DETAILS

日時 **2022年11月4日（金）**  
**18:30 - 20:00**  
形式 **オンライン（Zoomウェビナー）**  
言語 **日本語**

## SPEAKERS



**貝戸 清之**  
大阪大学 大学院工学研究科  
准教授



**中村 和博**  
西日本高速道路株式会社  
(NEXCO西日本) 関西支社  
総務企画部企画調整課



**水谷 大二郎**  
東北大学 大学院工学研究科  
助教

## Moderator

### 黒河 昭雄

神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター研究員（シニアマネージャー）／  
JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」研究推進委員

## 参加登録はこちら

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_UIPMhRblS0CtpHF4ujn8QA](https://zoom.us/webinar/register/WN_UIPMhRblS0CtpHF4ujn8QA)

## SciREX Seminar #42

高度経済成長期以降に集中的に整備された日本のインフラ。そのマネジメント政策はベテラン技術者の長年の経験や知識、勘に基づいて形成されてきました。しかしながら、団塊的な老朽化が現れていることに加え、人口減少に伴う社会の縮小、AIやドローンといった革新的技術の登場など、インフラやその周辺環境には劇的な変化が起きている。利用者の安全・安心の確保を第一に、マネジメントの合理化を図っていくためには、科学的根拠に基づく意思決定を行っていくことが一層重要です。

そこで今回、JST-RISTEXのプロジェクトから「科学的エビデンスに基づく社会インフラのマネジメント政策形成プロセスの研究」を取り上げます。2019年度の採択以降、データサイエンスの手法からインフラの補修や更新に関する需要を予測する方法論の開発、予測結果を用いたマネジメント政策形成のプロセスの構築などを目指してきました。研究代表の貝戸清之氏（大阪大学大学院工学研究科 准教授）は、シミュレーションモデルの精度を向上させる上でも、そういった成果物がきちんと活用される上でも、ステークホルダー間の溝に橋を架けるような丁寧なコミュニケーションが欠かせないといいます。

当日は、貝戸氏によるプロジェクトの概要説明と成果報告に加え、劣化予測やマネジメント施策の最適化に取り組む若手研究者、インフラを管理する企業の方から話題提供をいただく予定です。それぞれどのような課題意識からプロジェクトに取り組み、その中でどのような気づきを得たのでしょうか。セミナーの後半では、参加者からのご質問やご意見を踏まえたディスカッションも行います。ぜひご参加ください。

### お問い合わせ

政策研究大学院大学（GRIPS）  
科学技術イノベーション政策研究センター  
広報担当 [scirex-center@grips.ac.jp](mailto:scirex-center@grips.ac.jp)

# SPEAKERS and MODERATOR



## 貝戸 清之 KAITO Kiyoyuki

大阪大学 大学院工学研究科 准教授

2000年3月東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻修了。博士（工学）。コロンビア大学客員研究員、民間コンサルタント会社主任研究員を経て、2007年4月より大阪大学大学院工学研究科フロンティア研究センター特任講師。2011年4月より現職。土木構造物を中心とするインフラを取り巻く意思決定問題が研究テーマ。データサイエンスやAI技術を活用しながら、インフラマネジメントのDXやEBPMに関する研究に従事。



## 中村 和博 NAKAMURA Kazuhiro

西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）関西支社  
総務企画部企画調整課

2000年4月日本道路公団採用（2005年10月NEXCO西日本）。高速道路の建設・管理の現場、株式会社高速道路総合技術研究所（NEXCO総研）舗装研究室へ出向、NEXCO西日本技術本部技術環境部を経て、2021年7月より現職。膨大な高速道路の現場データと自身の豊富な現場経験を融合した、高速道路舗装マネジメントの合理化に資する研究に従事。



## 水谷 大二郎 MIZUTANI Daijiro

東北大学 大学院工学研究科 助教

2016年9月大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。チューリッヒ工科大学 博士研究員、大阪大学大学院工学研究科 特任研究員、東北大学災害科学国際研究所 助教を経て、2020年10月より現職。インフラアセットマネジメント全般、特に、統計的劣化予測、ネットワークレベルの維持管理施策最適化に関する研究に従事。令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。



## 黒河 昭雄 KUROKAWA Akio

神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター  
研究員（シニアマネージャー）／  
JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」研究推進委員

東京大学公共政策大学院修了。東京大学政策ビジョン研究センター等で医療イノベーション政策に関する調査研究に従事した後、2016年よりJST-RISTEXアソシエイトフェロー。2019年より現職。その他東京財団政策研究所主任研究員、政策研究大学院大学客員研究員なども務めている。